



ほけんだより

22年度7月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

春から続いていた、おたふくかぜは6月に幼児1人乳児8人でしたが今月に入りおちついてきました。代わって現在、豊橋市では急性ウイルス性咽頭炎であるヘルパンギーナが流行しています。



どんな感染症でも予防と早期発見が、子どもを含め家族を守ることに繋がります。

また、夏本番となり体力のおちる時期です。睡眠・食事・適度な運動と、日頃からの生活リズムがより大切になってきます。早めに就寝して疲れをとり、食事をしっかり食べて元気に遊びましょう！

予防にはやっぱり

てあらい うがい



【気をつけよう 夏の病気】

★ヘルパンギーナとは・・・夏かぜの一種で、のどの奥に水疱ができ高熱が出ます。水疱がつぶれると痛みがあり、食欲が無く不機嫌になります。感染経路は、くしゃみや咳による飛沫感染と便に含まれるウイルスによる経口感染などで、症状がおさまった患者からも2～4週にわたり便の中にウイルスが排出されます。トイレ後オムツ交換後にはしっかり手を洗いましょう。

熱が出ます。水疱がつぶれると痛みがあり、食欲が無く不機嫌になります。感染経路は、くしゃみや咳による飛沫感染と便に含まれるウイルスによる経口感染などで、症状がおさまった患者からも2～4週にわたり便の中にウイルスが排出されます。トイレ後オムツ交換後にはしっかり手を洗いましょう。



★プール熱とは・・・夏かぜの一種で、発熱、のどの痛み、結膜炎などの症状があります。

プールで感染することが多いため、こう呼ばれています。

かかってしまったら・・・汗と高熱で脱水症状を起こしやすいので、水分補給を心がけましょう。高熱が出たら医師の診断を受けましょう。

調理に工夫を・・・のどの痛みが激しい時は、かまずに飲み込めるものにして、痛みを刺激するような熱いもの、冷たすぎるもの、酸味のあるもの、塩味のきついものは避けるようにしましょう。



【他の子にうつる前に予防しましょう】

★アタマジラミ★

子どもの髪の毛に寄生します。1週間くらいで髪の毛に産み

集団生活の中で、かかっていても軽くすむ子と、ひどくなって他の症状も併せてしまう子等、体質によって様々です。他の子にうつさないためにも予防しましょう！！

付けられた卵からかえり、約3週間で3回脱皮して成虫に。成虫の寿命は1～1ヵ月半。成虫は1日に約5個の卵を頭髮の根元付近に固着させて産卵。成虫、幼虫ともに血を吸うので頭がかゆくなります。主に頭髮と頭髮の直接の接触で感染します。園でも頭を触れながら遊んだり、昼寝したりするため、こまめにチェックし、見つけたらすぐにお知らせします。しかし1番確実なのはご家庭でも注意して見ていただくことです。



*** アタマジラミを見つけたら ***

病院や薬局で相談し、早急に駆除をしましょう。そして 必ず担任にお知らせください

◎ 専用の駆除剤(シャンプーなど)で3日に1度(3日おき)のペースで3～4回繰り返す。

◎ 目の細かい専用のくしで、卵や成虫をすきとる方法もあります。

(注意：駆除は途中で終わらせないで、1～2時間かけて一度で済ませます。)

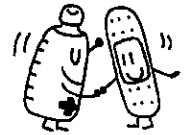
◎ 卵には薬剤は効かないので、枕カバー、シーツ、タオル、帽子などは共有せず、毎日取り替えて、熱処理をしてから洗濯を！！熱湯や乾燥機、アイロンで除去できます。

(60℃以上の温水または温風で5分以上処理すれば完全に成虫と卵の駆除が可能)

常に清潔にしていたとしても、小さい子どもの集団生活では頭部の清潔不潔に無関係でうつります。早めの駆除が発生拡大の防止につながりますので、ご協力よろしくお願ひします。

★ 水いぼ ★ ウイルス性のイボで、硬くてつやがあり、真ん中がくぼんでいます。脇の下、脇腹、股の付け根など、皮膚と皮膚がすれ合うところによくでき、イボがつぶれるとうつると言われています。

見つけたら・・・放っておくと体中に広がる可能性があります。時間をかければ自然に治ると言われますが、痒みを伴うこともあり、かきむしってしまうと重症化してしまいます。早めに皮膚科を受診することをおすすめします。



★ とびひ ★ 虫さされやすり傷に菌が入り、感染する皮膚病です。透明な水疱ができ、それが白く濁ってきます。水疱は破れやすくかゆみもあるため、かきむしることで菌がうつってしまいます。

傷の治りがおそかったら・・・自然に治ることは難しく悪化していくことが予測されます。疑われるようであれば医師の診察・治療が必要です。時間がたつほど本人の苦痛と他の子にうつしてしまうことにもなります。

